

## 大雨などによる災害対策充実強化についての意見書

本年も、特に7月以降、各地で記録的な豪雨が頻発しています。静岡県熱海市伊豆山地区では、大規模な土石流が引き起こされ、多くの住宅等がのみ込まれ、多数の死傷者が出るなど甚大な被害が発生しました。また、幅広い地域で、土砂崩れや河川の氾濫が引き起こされ、人的被害とともに、住宅被害等が発生しています。

発生した災害への復旧・復興に全力を傾注するとともに、コロナ禍において、今後予測される大雨や台風をはじめ、大規模な地震や津波、火山噴火等のあらゆる災害に対する万全の備えも含め、国におかれては、災害から国民の生命と財産を守るべく、災害対策の充実強化を図るため、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く求めます。

### 記

1. まずは、既に発生した災害、現に発生した災害に対して、国と地方自治体等が一体となり、被災者に寄り添い、被災者の救援や被災地の復旧・復興、事業者等への支援、災害発生防止などに全力で対応すること。今後起こりうる災害に備え、高齢者・障がい者など災害弱者も含めた避難等を確実にする計画づくりなど、地域の防災力を高めるため、国等による支援を強化すること。
2. 熱海市の災害における盛り土の土石流災害との関係について解明を進め、その結果に基づき、関係府省の連携・情報共有、盛り土に関する土石流災害に対する総合的な発生防止対策を図ること。盛り土や土砂類の搬入について、災害防止の視点から、規制の拡大・強化も含めた法制度の検討などを行うこと。
3. コロナ禍においても、様々な災害に襲われる可能性にさらされており、感染症拡大阻止と両立する災害時の避難等に関する政策の確立に努めること。
4. 強力な防災・災害・危機管理体制の創設、国と地方の連携強化とともに、災害対策について、関連する法案を全面的に見直すことにより、国民の命と暮らしを守る実効性を高めるとともに、科学的根拠に基づき丁寧な説明により情報発信をしてい

くこと。

5. 誰も取り残されることがないインクルーシブな防災を推進し、事前防災を強化し、災害が予想される段階での措置により地域経済や生活へのダメージを軽減すること。
6. 災害に強い国土づくりに向け、流域治水の推進、河川・海岸整備等の国の直轄事業を推進するとともに、再度の災害発生を防ぐため、原形復旧だけでなく、改良復旧を積極的に実施すること。
7. 地方自治体の行う防災・減災事業が着実に実施されるよう必要な財政措置を講じること。
8. 自然災害の発生要因の監視・観測体制や研究体制を強化するための施策を推進すること。
9. 避難所の確保・充実を図ることはもとより、被災者生活再建支援制度の充実、ボランティアに対する税制優遇措置の拡充など、被災者の自立に向けた支援の強化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月23日

大分県中津市議会